

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成30年9月20日 (2018.9.20)

【公表番号】特表2017-516380(P2017-516380A)

【公表日】平成29年6月15日 (2017.6.15)

【年通号数】公開・登録公報2017-022

【出願番号】特願2016-561720(P2016-561720)

【国際特許分類】

H 0 4 W 8/00 (2009.01)

H 0 4 W 92/18 (2009.01)

H 0 4 W 64/00 (2009.01)

【F I】

H 0 4 W 8/00 1 1 0

H 0 4 W 92/18

H 0 4 W 64/00 1 4 0

【手続補正書】

【提出日】平成30年8月9日 (2018.8.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ワイヤレスデバイスが微細タイミング測定プロシーダを使用して自動ワイヤレスドッキングセッションをサポートすると決定することと、

前記ワイヤレスデバイスと交換された信号についての伝搬時間を決定するために、前記ワイヤレスデバイスを用いた前記微細タイミング測定プロシーダを肯定的な決定に基づいて実行することと、前記伝搬時間が、前記微細タイミング測定プロシーダ中に交換されたタイミング情報に少なくとも部分的に基づく、

前記伝搬時間に基づいて前記ワイヤレスデバイスへの近接度を決定することと、

前記微細タイミング測定プロシーダを使用して決定された前記近接度に少なくとも部分的に基づいて、前記ワイヤレスデバイスとの前記自動ワイヤレスドッキングセッションを実行することと

を備える、ワイヤレス通信のための方法。

【請求項 2】

事前関連付け発見の後に、前記微細タイミング測定プロシーダを開始するために前記ワイヤレスデバイスに微細タイミング測定要求フレームを送ることをさらに備える、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記方法がワイヤレスドッキングセンターによって実行され、前記ワイヤレスデバイスがワイヤレスドッキーを備える、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 4】

前記ワイヤレスドッキーが前記ワイヤレスドッキングセンターとワイヤレスにドッキングさせられた後に、前記微細タイミング測定プロシーダを開始するために前記ワイヤレスドッキーに微細タイミング測定要求フレームを送ることをさらに備える、請求項 3 に記載の方法。

【請求項 5】

事前関連付け発見の後に、前記微細タイミング測定プロシーダを開始するために前記ワイヤレスドッキーに微細タイミング測定要求フレームを送ることをさらに備える、請求項 3 に記載の方法。

【請求項 6】

前記方法がワイヤレスドッキーによって実行され、前記ワイヤレスデバイスがワイヤレスドッキングセンターを備える、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 7】

前記ワイヤレスデバイスが前記微細タイミング測定プロシーダを使用して前記自動ワイヤレスドッキングセッションをサポートすると決定することは、

事前関連付け発見中に、前記ワイヤレスデバイスから、前記ワイヤレスデバイスが前記微細タイミング測定プロシーダをサポートすることを示す拡張能力情報要素を受信することと、

事前関連付け発見中に、前記ワイヤレスデバイスが前記自動ワイヤレスドッキングセッションをサポートすることを示すサービス情報フィールドを受信することとを備える、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 8】

前記拡張能力情報要素が、少なくともビーコン、またはプローブ要求メッセージ、またはプローブ応答メッセージ、または関連付け要求メッセージ、または関連付け応答メッセージ、またはそれらの組合せ中で受信される、請求項 7 に記載の方法。

【請求項 9】

前記ワイヤレスデバイスが前記微細タイミング測定プロシーダを使用して前記自動ワイヤレスドッキングセッションをサポートすると決定することは、

事後関連付け発見中に、前記ワイヤレスデバイスが前記微細タイミング測定プロシーダを使用して前記自動ワイヤレスドッキングセッションをサポートすることを示すユニバーサルプラグアンドプレイ (UPnP) 引数フィールドを受信することを備える、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 10】

前記ワイヤレスデバイスが前記微細タイミング測定プロシーダを使用して前記自動ワイヤレスドッキングセッションをサポートすると決定することは、

事後関連付け発見中に、前記ワイヤレスデバイスが前記微細タイミング測定プロシーダを使用して前記自動ワイヤレスドッキングセッションをサポートすることを示すユニバーサルプラグアンドプレイ (UPnP) アクション応答を受信することを備える、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 11】

前記ワイヤレスデバイスが前記微細タイミング測定プロシーダを使用して前記自動ワイヤレスドッキングセッションをサポートすると決定することは、

前記ワイヤレスデバイスが前記微細タイミング測定プロシーダを使用して前記自動ワイヤレスドッキングセッションをサポートするという指示を受信するために、近隣認識ネットワーク (NAN) プロシーダに参加することを備える、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 12】

前記自動ワイヤレスドッキングセッションが、少なくとも、前記ワイヤレスデバイスとのドッキングまたは前記ワイヤレスデバイスとのドッキング解除を備える、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 13】

ワイヤレスデバイスが微細タイミング測定プロシーダを使用して自動ワイヤレスドッキングセッションをサポートすると決定するための手段と、

前記ワイヤレスデバイスと交換された信号についての伝搬時間を決定するために、前記ワイヤレスデバイスを用いた前記微細タイミング測定プロシーダを肯定的な決定に基づいて実行するための手段と、前記伝搬時間が、前記微細タイミング測定プロシーダ中に

交換されたタイミング情報に少なくとも部分的に基づく、

前記伝搬時間に基づいて前記ワイヤレスデバイスへの近接度を決定するための手段と、
前記微細タイミング測定プロシーダを使用して決定された前記近接度に少なくとも部分的に基づいて、前記ワイヤレスデバイスとの前記自動ワイヤレスドッキングセッションを実行するための手段と
を備える、ワイヤレス通信のための装置。

【請求項 14】

前記微細タイミング測定プロシーダを実行するための前記手段は、
事前関連付け発見の後に、前記微細タイミング測定プロシーダを開始するために前記ワイヤレスデバイスに微細タイミング測定要求フレームを送るための手段をさらに備える、請求項 13 に記載の装置。

【請求項 15】

実行されたとき、コンピュータに、請求項 1 ~ 12 のいずれか一項に記載の方法を行わせる命令を備える、コンピュータプログラム。